

Oracle ネットワーク用管理ツール（サーバー、クライアントとも） Oracle Net Manager

Oracle の SQL*Plus 等で使う TCP ポート番号設定

グローバル・データベース名、サービス名、データベース SID 名 （データベース・インスタンス名）の調査

SQL/PLUS での接続コマンド

```
sqlplus username/password@net_service_name
```

↑

※ net_service_name は、tnsnames.ora ファイル（ Oracle ホーム¥network
¥admin ディレクトリ ）で設定した接続用のネット・サービス名

※ Oracle Net Manager で設定した名前

```
sqlplus username/password@サーバー名：1521/Oracle のグローバル・  
データベース名 SID名
```

接続設定が必要なファイル

【サーバー側】

listener.ora ファイル （Oracle ホーム¥network¥admin ディレクトリ）

tnsnames.ora ファイル （Oracle ホーム¥network¥admin ディレクトリ）

【クライアント側】

tnsnames.ora ファイル （Oracle ホーム¥network¥admin ディレクトリ）

設定ツールの起動方法

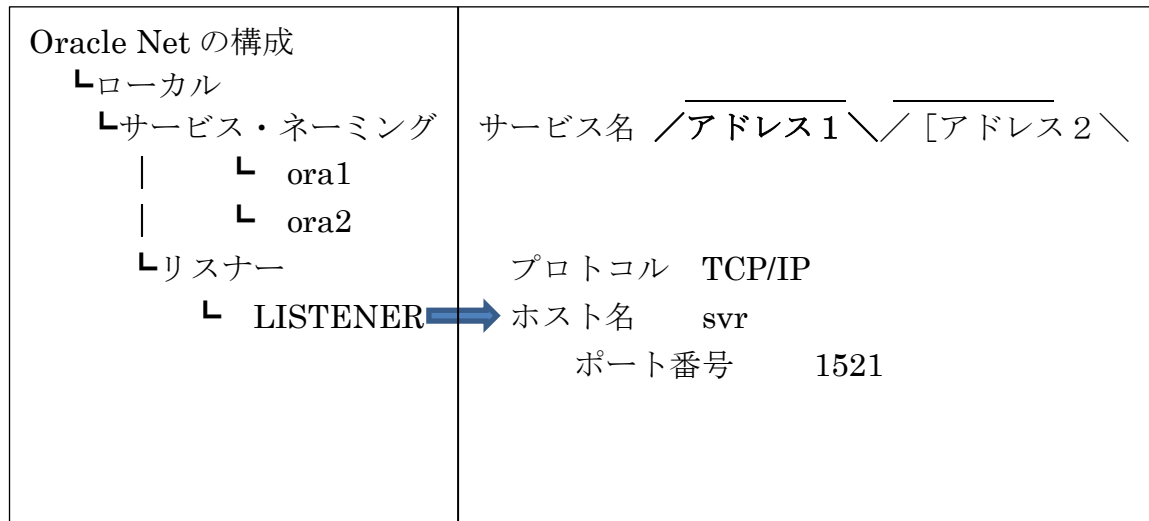
Oracle Net Manager の起動方法

[スタート] ボタン → [Oracle – OraClient11g_home1] →

[コンフィグレーションおよび移行ツール] → [NetManager]

listener.ora ファイル

外部からの接続用（接続待ち受けプロセス用設定）【サーバー側のみ】



Oracle Net Configuration Assistant で「リスナー構成」を設定することと同一 listener.ora ファイルが編集される

※ データベースが複数あっても、サービス・ネーミングとリスナーのポート番号設定は1つで可能

SQL*Plus 等の接続時に SID を指定して Oracle に接続するため

なお、複数ポート番号を指定した場合には、右側画面にポート毎の [アドレス1] / [アドレス2] タブが表示されて、切換えて使用する

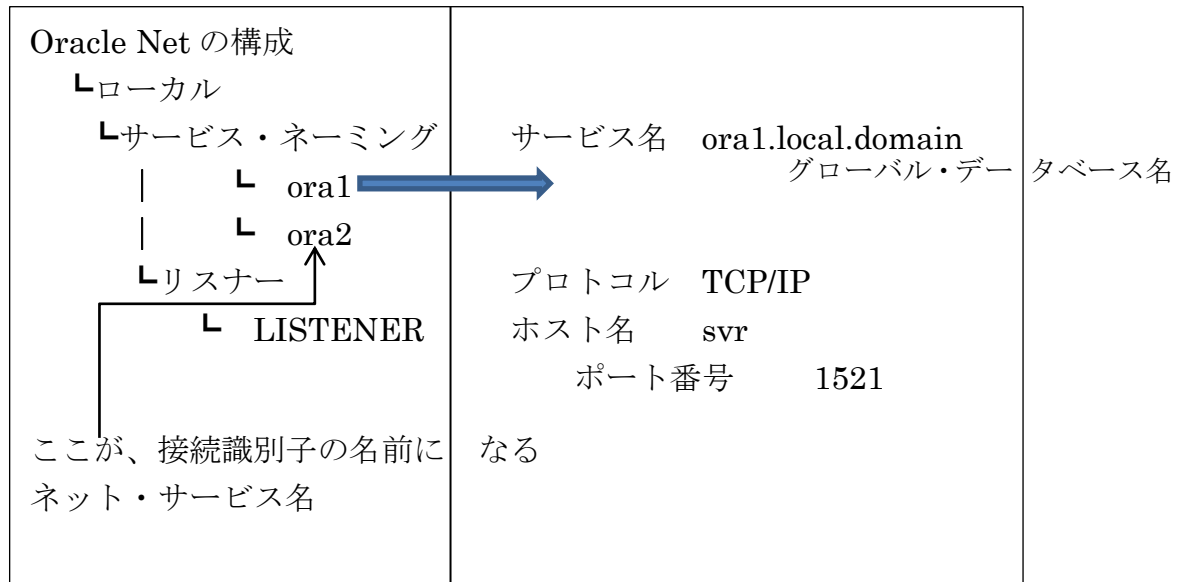
【参考】

複数 Oracle インスタンスでポート番号を分けなければならないのは、ブラウザから OEM (Oracle Enterprise Manager) 画面を呼出す時の URL アドレスである。

この画面とは、無関係

tnsnames.ora ファイルの設定

外部への接続へ使用（発信用）【クライアント側、サーバー側の両方】



Oracle Net Configuration Assistant で「ローカル・ネットサービス名構成」を設定することと同一

tnsnames.ora ファイルが編集される

※ データベースが複数あっても、サービス・ネーミングとリスナーのポート番号設定は1つで可能

SQL*Plus 等の接続時に SID を指定して Oracle に接続するため

【参考】

複数 Oracle インスタンスでポート番号を分けなければならないのは、ブラウザから OEM (Oracle Enteries MaNager) 画面を呼出す時の URL アドレスである。

この画面とは、無関係

グローバル・データベース名、サービス名、データベース SID 名（データベース・インスタンス名）の調査方法

グローバル・データベース名 （ =サービス名 ）

```
SQL> show parameter service_names
```

NAME	TYPE	VALUE
service_names	string	orcl.168.1.50

データベース SID 名 （ =データベース・インスタンス名 ）

```
SQL> select Instance_name from v$instance;
```

INSTANCE_NAME
orcl

```
SQL> show parameter db_name
```

NAME	TYPE	VALUE
db_name	string	orcl

```
SQL> show parameter instance_name
```

NAME	TYPE	VALUE
instance_name	string	orcl

発生するエラー内容と対応方法

Ora-12638 証明の取得に失敗しました

原因：sqlnet.ora ファイルの設定により、OS で使用しているユーザーで接続を行う
おうとしたため

対応：sqlnet.ora ファイルの内容を下記のように設定変更する

SQLNET.AUTHENTICATION_SERVICES= (NTS)

↓

SQLNET.AUTHENTICATION_SERVICES= (**NONE**)

ORA-12170: TNS: 接続タイム・アウトが発生しました

原因：サーバーがスリープ状態になっているためにタイム・アウトが発生した

対応：画面をクリックしてスリープ状態解除することにより解消